



一人暮らしの高齢者の方には、ふれあい活動員さんから、7月13日午後以降「愛のお菓子」を配って頂きました。

ちなみに「愛のお菓子」を配る時の一人暮らしの高齢者とは、校区の敬老祭にみやま市より招待の名簿に載った方で一人暮らしの方、と決めております。

※ただし、施設に入っておられる高齢者の方には差し入れが禁止されており、出来ませんので配っておりません。ご了承下さい。



東部校区社会福祉協議会

令和7年度 東部校区一人暮らしの方への「愛のお菓子」数

それぞれの区のふれあい活動員さんから配ってもらいました。

区	ふれあい活動員さん	6年度お菓子の数	前年度お菓子の数
1 赤山	常盤チエ子、松尾富子	1	1
2 蒲池山	小山ヤエ、野口澄美子	2	4
3 河原内	宮崎清美、宮崎かずよ	6	6
4 九折	大河美智代、大川美穂	4	5
5 谷軒	加藤春代	1	1
6 中尾上	中尾若歌子、中尾光子	3	1
7 中尾下	中原ミツノ、北村徳子	1	1
8 西湊	坂梨睦美、松尾芳子	2	1
9 西清水	徳永和代、徳永弘子	7	6
10 西野町	田中藏秋、大田黒誠之、西原英夫	3	3
11 赤坂	田中 潔、平野富正	3	3
12 下町	長瀬憲治、藤木恵美子、舟木長子	14	11
13 中町	山下祐次、築地原眞一、白谷憲司	4	2
14 上町	—	?	?
15 本町	北原貴子、古賀喜代志、河野都美子	9	9
16 日当川	田中かずよ、田中恭子	7	5
17 東清水	上妻加代子、松尾貴美子	7	6
18 屋敷	野田ヒトミ、中山茂子	8	7
19 団地	(一人暮らしはいません)	—	—

令和7年度 視察研修

久留米市 犬塚校区社会福祉協議会

(令和8年2月10日)

1. 犬塚校区の概要

久留米市の南西部、三潴町に属している。

三潴町は、古代より海や沼地であったため、元は“水沼 = みずぬま”と呼ばれていた。

平成17年(2005年)市町村合併で久留米市になった。

「犬塚」の地名は、小高くなった塚があったことに由来している。

面積：約6.3平方キロメートル

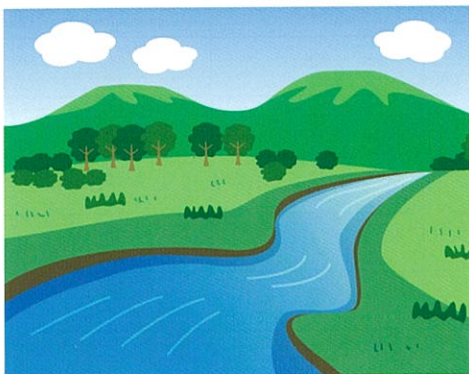
人口：約6,400人

世帯数：約2,700世帯

高齢化率：19.2%

2. 犬塚校区社会福祉協議会が大切にしている事

- 「ふだんのくらしの幸せ」をはかっていく。
- 隣近所の困っている人にちょっとした手助けをする。
- 社協活動が、皆さんに理解してもらい、参加してもらえるように広報に工夫する。





九州国立博物館

太宰府天満宮御本殿改修工事のご案内

当宮では、令和五年五月より約三年をかけた重
要文化財「御本殿」の大改修に際し、御本殿前に「仮
殿」を建設いたしました。仮殿のデザイン・設計は、
国内外で活躍する建築家であり、大阪・関西万博
の会場デザインプロデューサーも務めた藤木壮介
氏が手がけ、天神の社との調和を重視した、伝統
と現代が融合した美しい建物となっております。
御本殿の改修が完了した後、仮殿は役目を果たし
解かれることとなりますが、屋根の上の樹木は、
境内に植え替えられ、天神の社で生き続けます。



サロンへの東部校区社会福祉協議会からの助成（年 1 回）

令和 8 年 4 月 14 日～ 東部校区の各サロン代表者の方に、東部校区社会福祉協議会は活動助成金を、げんきかんの事務の方を通してお渡ししました。

- ※ ・サロンの年間実施回数が 12 回までは、年間回数×¥1,000 円
- ・サロンの年間実施回数が 12 回を超える場合は、
¥12,000 円 + (超えた回数×¥500 円) としております。
- ※ なお、みやま市社協は（サロンのべ年間出席人数）× 100 円を各サロンへ支給しています。

令和 6 年度 東部校区いきいきサロン 開催回数 及び、東部校区社会福祉協議会からの補助金（年 1 回）

区	サ ロ ン 名	開催回数×¥1,000 円	代表者名
日当	日当りサロン	¥12,000	松尾ひとみ
下町	下町お茶のみ会	¥12,000	松尾 行男
西野町	いきいきサロン西野町	¥12,000	吉田ツネ子
本町・中町	本町・中町サロン	¥8,000	築地原米蔵
赤坂	赤坂サロン	¥12,000	田中 潔
中尾	中尾サロン	¥12,500	中尾 久義
河原内	ひまわり会（河原内）	¥18,000	原 ヒサエ
九折	九折サロン	¥12,000	弥永 敏晴



松尾美紀江
江崎 豊子
田中 潔
宮崎 俊次
芳野 征稔

編集委員

